

視察 三芳配水場

令和3年7月1日

私が地元で一番気になっていた場所！ 山の上に大きなタンクが2つ…

点検は？ 地震がおきたら？

地元の自治会の方と大分市上下水道局の担当者に詳しく話を伺ってきました。

Q タンクの水は どれくらいの量が入っていますか？

A 「タンク1つ 1万5千トン（25メートルプール約60杯分）です。」

Q いつ建設されましたか？

A 「建設完成、昭和63年度です。」

Q タンクに問題はないか 定期的な検査は行っていますか？

A 「三芳配水場の法面については、令和2年度に現地調査（ボーリング調査等）を行い、その結果、地盤は強固で安定しており、地震時（震度7レベル）でも地すべりを起こさないとの解析結果を得ています。また、タンクには鉄筋だけでなくワイヤーも使用することで強度を増すプレストレストコンクリート構造で配水池を築造しています。上下水道局では毎年、構造物と側溝清掃の目視点検をしています。」とのことでした。

タンクのまわりの雑草に関しては年に3回草刈りを実施されたおり、住民の皆さまが安心して暮らせるように今後も定期的な点検をお願いしたいと思います。



視察 大分市立王子中学校

令和3年7月12日

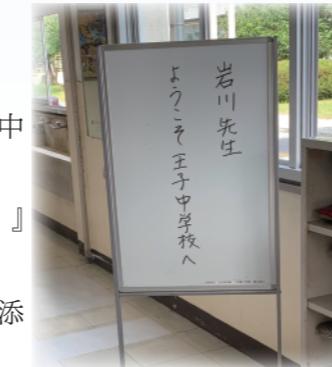
今後、増員予定の『スクールライフサポーター』の活動を調査してみたいと思い、大分市立王子中学校へ行って参りました。

『岩川先生 ようこそ王子中学校へ』の嬉しいホワイトボードに迎えられ『おはようございます！』

の元気な声！ 学校ってやっぱり活気が溢れているなどと思いました。

しかし、王子中学校も年々不登校の生徒が増え、校長先生を中心に学校全体で個々の生徒に寄り添う支援がなされていました。

『スクールライフサポーター』の先生が指導されている教室は、個々の空間を大切にレイアウトされていて仕切りなどもあり、静かに、ゆっくり勉強ができる空間でした。生徒への声かけは、話の内容などにも気を配って、生徒に負担にならないような工夫があり、私も教室で笑い声を聞くことができました。相談しやすい温かい環境づくりがとても大事だと感じました。



視察 エデュ・サポート大分

令和3年8月10日

竹田市議会議員の賀籠六（かごろく）めぐみ議員と『エデュ・サポートおおいた』の視察へ行ってまいりました。

学校に行きたくても行けない、人と会うのは緊張すると悩んでいるお子さんの社会的自立に向け、個々の状況に応じた支援を行っている場所です。個別支援の中で元気を取り戻し、多くの人の中でも活動できるようになれば、集団に入級して様々な活動に挑戦してもらっているそうです。

調理活動や魚釣り、スポーツ活動や学習活動をしている様子の写真やお話をたくさん伺ってきました。



視察 子ども食堂

令和3年9月25日

ひまわり食堂 オープン！

長浜校区公民館でボランティアのみさんとお弁当を70食作りました！

大分市民ボランティア団体 Sanflower とボランティアの方で運営され、毎月第4土曜日の12時から15時までの開催予定だそうです。子どもたちにお腹いっぱいになって欲しいからと、おかずもご飯もてんこ盛りです。主催の方々も下準備が大変だったと思いますが、大人も子どもたちもみんな笑顔いっぱいです。次回も楽しみです。



★他 フリースクールや商店街など視察に行ってまいりました。

市議会たより 2021年6月9月号

いわかわ よしえ

お一人おひとりに心配りが出来る
優しい 大分市をめざして

無所属

福祉・教育の充実に頑張ります！

みなさまの声を聴かせて下さい

<https://www.city.oita.oita.jp/shigikai/index.html>

市議会情報配信中！

携帯 090-2508-1857 大分市議会 HP



発行者 大分市議会議員 岩川 義枝

携帯 090-2508-1857

大分市役所 〒870-8504 大分市荷揚町2番31号 TEL 097-534-6111

ごあいさつ

今年も、あとわずかとなりました。

新型コロナウイルスへの対応が長期化するなか第一線で奮闘されている医療従事者のみなさまに心から御礼申し上げます。そして市民のみなさまの数々のご協力に感謝の思いでいっぱいございます。

さて、私にとりましても今回3回目の定例会が終了しました。

今年、3月から頂いた市民のみなさまからの相談件数は、9月末現在50件を越えました。具体的には、不登校・発達障がい・高齢者福祉サービス・水道水・生活保護・道路問題・信号機の設置・抗原キット・放課後デイサービス・分散登校、支援学校・公民館の網戸問題などです。

こんなにたくさんの困り事があるのかと驚き、日々、走り回っております。みなさまのおかげで以前から手がけたかった福祉・教育の問題についても全力で活動でき、『水を得た魚のようだね』と嬉しいお言葉も頂きました。

市議会の自分の控え室にいないことも多く、ご連絡をしてくだされば控え室でお待ち致しますので、お気軽に足をお運びくださいませ。



※イラスト漫画のコーナーは実話でお届けしています

令和3年度第2回定例会 6月14日開会～6月28日閉会

一般質問『成年後見制度について』

わたしの長女に障がいがありずっと気になっていました。(親なき後、どうなるのだろう…)
『成年後見制度』についてを質問させていただきました。この制度は、使いにくいと言った声も多く聞かれます。しかしこれからも必要性が高いと思われますので、議会で定期的に確認しつつ質問したいと思っています。

①本市の認知症高齢者数について 答弁：福祉保健部 長寿福祉課・障害福祉課

平成30年に厚生労働省は『65歳以上の高齢者数の7人に1人は認知症と見込まれる』と発表しており、その数値から計算すると令和3年5月末現在1万8800人と推測。認知症と言われる日常生活自立度Ⅱ以上の方は令和3年3月末時点で1万5201人。

②本市の成年後見制度の利用状況について 答弁：福祉保健部 長寿福祉課・障害福祉課

大分裁判所の調査によると令和2年9月末現在で600人

③本市の成年後見制度の利用支援について 答弁：福祉保健部 長寿福祉課・障害福祉課

相談等については長寿福祉課と障害福祉課で対応し、より広範で専門的な相談体制の充実と制度の利用促進を図ることを目的として平成30年4月にJ:COMホール大分内に『成年後見人センター』を設置し、相互に共有することによりきめ細やかな対応に努めています。

④成年後見制度の利用促進の取組について 答弁：福祉保健部 長寿福祉課・障害福祉課

本市では、利用促進に関する施策の総合的・計画的な推進を図るため、令和5年度までの3カ年を計画期間とする『大分市成年後見制度利用促進計画』を本年3月に策定し制度の周知を図ると共に誰もが利用しやすい制度となるように、関連する取り組みの着実な推進と大分市成年後見センターの機能充実を図ることにより成年後見制度の利用促進に努めてまいりたいと考えております。

いわかわよしえの思い

現在、大分市の認知症高齢者数約1万5千人に対して、成年後見制度の利用者が600人とのことでした。視点をかえれば、たった今は制度を利用しなくとも、親族や施設関係者等により、高齢者のお世話や支援が一定程度できているということも言えるのかもしれません。しかし、それもすぐに限界が訪れると考えられます。成年後見制度が必要な人に実際の制度活用がされていない、まだまだ『成年後見制度が知れ渡っていない』状況だと思います。

今後、成年後見制度を市民にわかりやすく周知するとともに『大分市成年後見制度利用促進基本計画』の基本理念である、誰もが意志の決定を尊重され安心して暮せるまちづくりが実現するように、私自身も大分市市民後見人について学びながら取り組んでまいります。

一般質問『本市の児童生徒の自転車事故の発生について』

自転車は、大人から子どもまで手軽に利用できる乗り物です。しかし、使い方を誤ると大惨事になってしまいます。わたしが気になっておりましたのは、今年4月に『大分県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例』が施行され、その中に『自転車に乗る方全員が自転車損害賠償責任保険等に加入しなければならない』と明記されていたことです。市民への周知方法等を含め次の3つの質問を致しました。

答弁：教育部学校教育課

- ①児童生徒の自転車事故の発生件数や事故の状況について
- ②児童生徒の自転車の事故防止のために行っている取組について
- ③自転車損害賠償責任保険等への加入の周知について

詳細は、岩川義枝一般質問動画をご覧頂くか岩川までご連絡ください。

いわかわよしえの思い

今回は児童・生徒についての質問ではありましたが、高校生になるとクロスバイクと呼ばれるスポーツタイプの自転車に乗る学生が多く、スマートフォンを操作しながらの「ながら運転」など大事故になりかねません。自転車は楽しい便利な乗り物ではありますが、使い方によっては怖い乗り物でもあります。それだけに、正しい知識を教育し、保護者に対して自転車損害賠償責任保険の重要性をしっかりとわかりやすく伝えて頂き、今後も自転車事故がない大分市を目指して行きたいと思います。



令和3年度第3回定例会 9月1日開会～9月27日閉会

一般質問『不登校について』

令和3年度第1回の定例会で『不登校児童生徒を生み出さない取り組み』について質問させていただきました。今回は、不登校児童生徒に関わる大切な4つの質問を致しました。

①スクールライフサポーターの増員について 答弁：教育部 学校教育課

令和2年度から市独自の事業として校内で支援を行うスクールライフサポーターを中学校に4校。今年度は3校加え計7校に配置校内の支援教室において生徒の個人指導を行うとともに、学級担任と連携してきめ細やかな支援を行うことにより成果もあり、今後増員を含め支援体制一層の充実に努めてまいります。

②不登校の生徒の支援を含む進路指導について 答弁：教育部 学校教育課

家庭訪問や個人相談を行う中で、生徒の進路に対する关心を高めながら全日制課程、定時制課程、通信制課程の高等学校等に関する情報を提供し、学力保障のための個人学習を実施しております。

③不登校児童生徒の保護者支援親同士のつながりについて 答弁：教育部 学校教育課

親同士のつながりを持つことは大変重要であり、大分市教育センター内に設置している教育支援教室『フレンドリールーム』にて『親の会』を年4回実施。保護者から『同じ気持ちの方がいることがわかり気持ちが楽になった』などの意見もあり、各学校でもニーズに応じて懇談会を実施しているところであります。

④本市のフリースクールの現状と情報について 答弁：教育部 学校教育課

本市におけるフリースクールは、令和3年8月現在12施設を把握しております。多様な状況に対応した支援が行われており、学校や保護者へ必要に応じて情報提供を行っております。

いわかわよしえの思い

不登校者数は、小学校・中学校合わせて平成30年879名、令和元年964名、令和2年1035名と増え続けています。不登校の理由も友人関係、いじめ、家庭内不和、学業不振と様々ですが、令和元年の調査だと本人に係る状況（生活のリズムの乱れ・遊び・非行・無気力・不安）が50%を占めています。2016年12月に『普通教育機会確保法』が成立し『学校復帰』をめざさせる不登校者への支援のあり方が大きく変わり『社会的自立』が目標となり、どこで学ぶかでなく、今後何をどのように学ぶかが重要になってきたと思います。今後、さらに親の会や保護者会のつながりを強化し、親を孤立させないこと等課題は山積みではありますが、子どもたちの社会的自立のため、子どもにも親にも寄り添うあたたかい支援に力をいれて頂きたいと思います。私自身も、不登校の親の会への参加や学校視察などの活動に力を入れてまいります。

一般質問『ときめき出会いサポート事業について』

結婚を希望する男女を応援するこの事業がスタートした平成27年から司会やセミナー講師として携わらせて頂きました。今後もこの事業の発展を願い、次の4つの質問を致しました。

答弁：市民部 男女共同参画課

- ①ときめき出会いサポート事業の目的
- ②参加者の声やご意見について
- ③参加者の費用について
- ④今後の取り組みについて

詳細は、岩川義枝一般質問動画をご覧頂くか岩川までご連絡ください。



令和3年第3回定例会



岩川義枝 一般質問動画

いわかわよしえの思い

内閣府の令和3年版少子化対策白書に依れば『いずれ結婚するつもり』と応えた未婚者（18歳～34歳）の割合は、約80%以上と依然として高い水準を維持しています。独身でいる理由を尋ねると、男女ともに『適当な相手にめぐり会わない』がもっとも多い。この実態からして、これまで以上に結婚を希望される方の望みが叶えられるように取り組んで頂きたいと思います。長引くコロナ禍で他人とのつながりが希薄になっています。こういう時代だからこそ、共に生きていきたいと思える人との出会いは人を前向きにするのではないでしょか。今後は、男女が対面で意思疎通を図ることが何より大事なことだと捉え、可能な限り対面でのイベントを重視していくと前向きな答弁をいただきました。笑顔いっぱいの幸せなカップルが数多く誕生しますように…